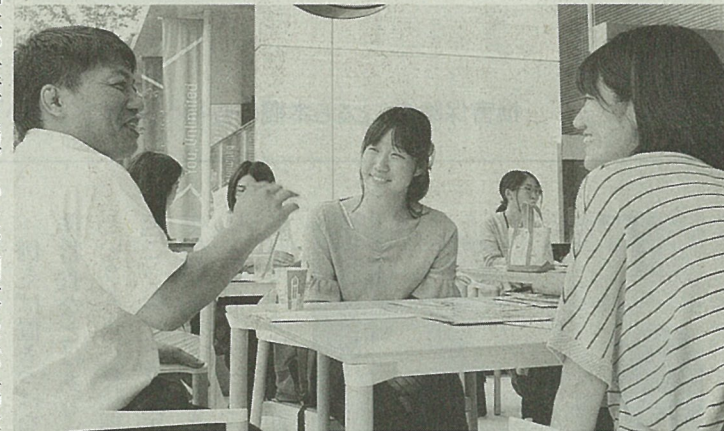


6/27(木) 中日新聞

## 福祉で働く人の声 聞く 龍谷大生、ランチしながら交流会



福祉の仕事について話し合う学生と現場の職員  
＝大津市瀬田大江町の龍谷大瀬田キャンパスで

大学生に福祉の仕事に興味を持ってもらうことを目的とした交流会「ふく・楽 CAFE」が二十六日、大津市瀬田大江町の龍谷大瀬田キャンパスで開かれた。県社会福祉協議会が企画し、同大の学生約十人が参加した。

特別養護老人ホームや児童相談所など、県内の福祉現場で働く二十～三十代の五人が、学生に仕事内容などを説明。学内のカフェで昼食を食べながら、仕事現場の雰囲気、労働時間、やりがいや給料などを話し合

った。同大には、福祉について学ぶ社会学部現代福祉学科があることから、交流会を催した。

児童福祉司の網島由香さん(三七)は「みなさん、しっかりとした考えを持っている。人材不足なので、熱い思いを持っている人にぜひ来てほしい」と話していた。参加した同大三年の中畠菜葉さん(三三)は「楽しもうに働いている人が多いと感じた。就活に向けて、参考になった」と満足した様子だった。

(柳昂介)